



YMNだより

平成31年2月1日 第56号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN 代表 大津 清)
涵養塾(山形市清住町)内 YMN 事務局

第2回電動義手教室を開催しました

去る平成31年1月27日(日)午前10時30分より、山形県産業科学館2階フリースペースにおいて、子どもゆめ基金助成活動「3Dプリンターでチャレンジ!～電動義手教室～」の第2回目を開催しました。山形工業生グループ、寒河江工業生グループの合計7名と YMN メンバー2名が講師になり、来館者に第1回電動義手教室で製作した電動義手を説明して体験していただきました。



電動義手の部品を3Dプリンターで製作したことから、3Dプリンターも展示しました。来館した体験者は、子ども25名、保護者26名でした。参加していただいた皆さん、産業科学館の皆さんありがとうございました。

山形盲学校授業見学会・情報交換会に参加して

平成31年1月15日(火)13:25～山形盲学校において、授業見学会・情報交換会が行われました。3Dデータを提供した寒河江工業高校モデリング班生徒4名及び担当の先生、山形盲学校の先生方と情報交換を行い、その後授業見学会を行いました。

授業は石澤先生により、山形盲学校の校舎模型(寒河江工業高校生製作)を使い、校舎の立体的な構造を確認するものです。校舎模型のブロックを組み立て、完成したときは拍手をして喜んでいました。感動しました。作成した生徒もどんなにかうれしかったでしょう。

3Dプリンターの模型は、いかに実物に近いものを作るかが問われるものと思っていました。しかし、授業では気になるものがあるとそちらに気持ちが移るのでモデル化されたものがよく、バリなど安全面に配慮したものでした。勉強になりました。山形盲学校の皆さん、参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



3Dプリンター活用事例集原稿募集

このたび、山形市立第四中学校への YMN 教育用3Dプリンターの贈呈をもって寄贈100台に達成しました。皆様からのご支援、ご協力の賜物です。深く感謝申し上げます。このことから、情報交換するとともに、なお一層の活用を図ることをねらいに3Dプリンター活用事例集をまとめることになりました。そこで、原稿を募集いたします。下記のWEBの原稿募集要綱並びにポスターをご覧ください。

ふるって、応募して下さるようお願い申し上げます。

● http://www.y-makers.net/?page_id=188



山形市立第四中学校へ3Dプリンターを贈呈

去る平成31年1月24日(木)16:20～山形市立第四中学校へ手作り YMN 教育用3Dプリンターを贈呈しました。夢の100台目です。山形第四中学校の教頭先生はじめ先生方と総合文化部生徒17名のもとに、代表生徒に贈呈書をお渡ししました。



この事業は山形市コミュニティファンド事業「山形の未来を拓く21世紀型能力を育む推進事業～世界最先端の技術を山形市の小中学生に～」の支援を受けて実施したものです。

3Dプリンターを部活動などでご活用し、STEAM教育に生かしてください。下記の新聞に記事掲載されました。

● 「使って学ぼう 寄贈100台到達」山形新聞、平成31年1月26日付